

第3回

蓄熱建材シンポジウムご案内

建物の高断熱・高気密化が急速に進む中で、蓄熱建材を利用した更なる省エネルギー化と快適性向上に向けた様々な試みが始まっています。

講演者の皆様には省エネルギーのトレンドや、蓄熱建材の効果をテーマにした実物件での活用や蓄熱建材の今後についてお話していただきます。

高断熱・高気密の
その先に、一步進んだ
蓄熱建材

日 時

2019年2月8日(金) 13:30~17:45【開場: 13:10】

場 所

東京都中央区八重洲1-2-16 TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyo-nihombashi/access/>

登録方法

以下のE-mailにメールタイトル『蓄熱建材シンポジウム参加』でお送り下さい。(応募締切: 2019年1月31日)

事前登録制
参加無料

メール内に会社名・所属・役職・氏名・電話番号・メールアドレスを記載して下さい。
複数名のお申込みの場合は代表者以外の方については氏名・所属・役職を記載下さい。
※ 定員: 120名、定員になり次第受付を終了させていただきます。
※ ご記入いただきました情報は適切に管理いたします。本事業に係る連絡のみに利用し、皆さまのご承諾なく第三者に開示・提供はいたしません。

E-mail: yokoyama.masahiro.ms@m-chemical.co.jp

内 容

◆開会挨拶 (13:30~13:40)
一般社団法人 日本潜熱蓄熱建材協会
会長 大道 正人

◆講演① (13:45~14:15)
「家庭部門における省エネルギー政策の
動向」
経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー課
課長補佐 田中 宏和

◆講演② (14:15~14:45)
「省エネ基準における暖冷房負荷計算の
現状と今後の方向性」
国立研究開発法人 建築研究所
主任研究員 西澤 繁毅

◆講演③ (14:45~15:15)
「住宅メーカーにおける蓄熱建材活用に
向けた取り組み」
株式会社 ミサワホーム総合研究所
取締役 太田 勇

◆講演④ (15:30~16:00)
「潜熱蓄熱材を使用した測定事例
~健康・快適な住まいを目指して~」
株式会社 北洲 総合研究所
研究員 今野 将生

◆講演⑤ (16:00~16:30)
「ZEHプラスから見えるエネルギー自立の未来
再エネと高断熱に続く蓄熱技術の重要性」
東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻
准教授 前 真之

◆講演⑥ (16:30~17:00)
「住宅性能診断ソフトを利用した蓄熱効果検証
~蓄熱建材利用法が「ト」ライン策定を目指して~」
一般社団法人 日本潜熱蓄熱建材協会
理事 野末 佳伸

●質疑応答 (17:00~17:30)

●ご講評 (17:30~17:40)

(前出) 田中 宏和

●閉会挨拶 (17:40~17:45)

(前出) 前 真之

※講演テーマおよび講演者は、都合により変更となる場合がございます。

※シンポジウムの様子を撮影した写真を広告のためサイト等に掲載することがあります。もし、撮影および掲載を希望されない場合はシンポジウム当日に受付にお申し出いただけるようお願いいたします。ご来場者の写真撮影は禁止です。

<お問い合わせ>

一般社団法人 日本潜熱蓄熱建材協会

URL: <https://pcmconso.jp/>

事務局 担当: 横山 050-3171-1426 (直通)

【会場アクセス】

TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター

〒103-0028

東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル別館5階（ホール5A）

東京メトロ東西線 日本橋(東京都)駅 A1 徒歩1分

都営浅草線 日本橋(東京都)駅 A1 徒歩1分

東京メトロ銀座線 日本橋(東京都)駅 A1 徒歩1分

JR京浜東北線 東京駅 日本橋口 徒歩4分

JR京葉線 東京駅 日本橋口 徒歩4分

JR快速エアポート成田 東京駅 日本橋口 徒歩4分

JR快速アクティー 東京駅 日本橋口 徒歩4分

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyo-nihombashi/access/>

